

実りの秋!

九月は学校にとって一年の中で大きな節目の月となる。長い夏休みが明け、学校が始まるからです。確かに、北海道や東北などは八月の終わりから学校は始まり、最近では東京をはじめ多くの地域の学校で授業時数を確保するということが八月に授業を始める学校が増加傾向にあります。しかし、今でも夏休みが明けて、多くの学校が九月に新学期を迎えます。生徒の明るい元気な声が昨日まで静かだった校舎に響きわたる。生徒がいての学校だと改めて思える瞬間があります。

「実りの秋」という言葉をよく聞きます。春に種をまき秋に収穫する、という農耕民族である日本人の原風景の中から生まれた言葉かも知れません。学校教育で使うのに実にふさわしい言葉だと、私は思っています。



九月に入ると厳しい残暑も次第に和らいで程よい気候に成り、学習するにも、スポーツするにもこれから絶好の季節を迎えます。成長途上の生徒にとって一つ一つの授業や行事、部活動などに丁寧に取り組むことが、自らを大きく成長させることにつながります。また、四月より始まった学級づくりなども九月からの数々の行事の中で「花開く」時期でもある。まさに「実りの秋」になります。

一雨ごとに涼しさを運んでくる秋の長雨は、風が肌にやさしく感じ、虫の音が快く心に響きます。そういう心境になれるぐらい、心に余裕を持ちたいものです。忙しさの合間に、ふと「手をとめ、目をとめ、心をとめ」て自然の営みに向き合い四季の移ろいのよさを感じられる感受性を教師自身がもち、生徒にも気づかせたいものです。

本学期も宜しく願いいたします。

たつの市立新宮中学校
校長 芝崎 幸成

